

半田音楽会

日本の流行唄

は や り う た

大正浅草オペラ篇

今から百年前の大正時代に、東京浅草の芝居小屋で花開いた「浅草オペラ」とは一体どういうものであったのか。



セントラル愛知交響楽団
名古屋二期会

指揮◎柴田祥
構成・演出◎右来左往

2017.2/5日【開演】14:00【開場】13:15

半田市福祉文化会館 雁宿ホール 大ホール

チケット【セット券/プレコンサート込み】5,000円(税込) ※未就園児の入場不可
【大正浅草オペラ篇】3,000円(税込) [当日] 3,500円

平成28年10月7日(金)9:00～
お電話で販売開始 平成28年10月12日(水)9:00～
【取扱い】半田市福祉文化会館(雁宿ホール)
TEL.0569-23-7331、9時～22時(休館日を除く)

セット券
ご購入の方に
プレ
コンサート

2017.
2/1

【開演】18:30【開場】18:00(20:30終演)

一緒に歌おう
“歌声ホール”



【出演】名芸男子MGD(オペラユニット)、名古屋二期会 加藤智、伊藤美砂子

2017.
2/3

【開演】19:00【開場】18:30(20:15終演)

おは・クラ・ライブ～佐井祐里奈とともに～

“マーシー山本教授”の「これを聴けばわかる!文明開化を彩った西洋音楽」
【演奏】セントラル愛知交響楽団(ヴァイオリン、チェロ、ピアノ)



※いずれのプレコンサートも、半田音楽会日本の流行唄～大正浅草オペラ～セット購入者にはプレコンサートチケットをお渡します。(プレコンサートは全山出席)※プレコンサートのチケットのみは、雁宿ホールにて各1,200円で販売します。

【指揮】柴田 祥 【構成・演出】右来 左往

時は大正。今から100年前の1917年。西洋のオペラを苦心して日本語に訳し、その後浅草で一大ブームが巻き起こりました。原信子、田谷力三、そして後の藤原歌劇団を創立した藤原義江といった先人達が大眾向けに日本語によるオペラを上演しました。当時浅草では数多くの劇場が作られ、多くのファンが劇場を訪れました。しかし関東大震災により楽譜や衣装が焼失し、6年続いた「浅草オペラ」のブームは終焉を迎えてしまいました。西洋音楽を日本人の心になじませた「浅草オペラ」。この時代がなかったら今の音楽界はなかったのかもしれない…。



演奏曲

- オフエンバック / 喜歌劇「天国と地獄」序曲
- ビゼー / 歌劇「カルメン」より「ハバネラ～恋は野の鳥～」、「闘牛士の歌」
- スッペ / 喜歌劇「ボカッチョ」より「ベアトリ姉ちゃん」、「恋はやさし」、「トスカーナの二重唱」
- マスカーニ / 歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より間奏曲
- 益田太郎冠者 / 喜歌劇「カフェーの夜」より「コロッケのうた」 他

【演奏】
セントラル愛知
交響楽団

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。1997年セントラル愛知交響楽団と名称を変更。2014年4月から音楽監督にチェコの名匠レオシュ・スワロフスキーが就任。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋芸術奨励賞」。

【出演者】
名古屋
二期会

ACCESS

半田市福祉文化会館(雁宿ホール)大ホール

☎475-0918 半田市雁宿町1-22-1



開場後より開演まで、及び休憩時にホワイエにてカフェコーナーを開設いたします。お飲み物(350円)をご用意しております。



託児をご希望の方は、子育て支援センター「はんだっこ」へ時預かり(0569-22-4188)まで事前にお問合せください。

名鉄知多半田駅より西に徒歩3分

